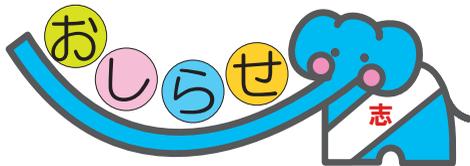


会派 未来の風

伊藤ひろしの



「豊かな人間性を育む教育」
「福祉的配慮のあるまちづくり」
「スポーツ振興」「地域問題」
について質問しました。

インターネットから
議会中継を
見ることができます

<http://www.hiroshi-ito.com>
→ 議会中継をクリック

第2回 定例議会：一般質問 6月9日（火）3番目

会派議会報告会のご案内

8月10日(月)19:00～ サンロード津田沼2階集会室
(京成津田沼駅ビル隣接)



日々の活動をブログにて報告しています。
携帯からアクセスできます。是非ご覧下さい。

<http://www.hiroshi-ito.com/>



次回の議会報(第18号)のご案内

予定内容

習志野市の問題点(その2)
「市長公約」の取り組み問題
"仏を作って魂を入れず?"

◎ ご意見・ご感想をお寄せください!

習志野市袖ヶ浦2-4-1-201

TEL・FAX 047-454-8358

✉ hiroshi-ito@hiroshi-ito.com

<http://www.hiroshi-ito.com/>

伊藤ひろし

習志野市議会議員

習志野 ずっと住みたい まち計画



2009/8
第17号

6月議会から見える

習志野市の問題点

その1
教育委員会編

議会質問で教育委員会、市長の政治姿勢の根幹に係わる問題が明確になりました。1つは、教育委員会が教育行政展開のために、職員の執行状況を、的確に把握していないことです。もう1つは、市長が市民と約束した公約(マニフェスト)について、職員が真剣に取り組んでいないことです。習志野市が「子どもたち」や「市民」のために、市長や教育長が、職員との関係に緊張感ある真剣な姿勢で臨んでいるとは全く思えません。教育行政・市政をほどほどに行なわれて、犠牲になるのは「子どもたち」と私たち「市民」です。このままでは、市役所・教育委員会の本来の設置目的である「住民の福祉」「教育」の充実に対して、機能不全に陥る組織となりつつあります。今回、(その1)として教育委員会の問題を述べさせて頂きました。

市民の民様は、どうお考えでしょうか?



将来、義務教育を受ける子を持つ親
伊藤 寛

学

「教育委員会」の問題点

"機能不全、骨粗しょう症状態?"

文部科学省は、平成19年に法律で、地方自治体の教育委員会に、毎年、重点施策などを点検・評価し、それを市民や議会に公表することを義務づけました。そこには、大学教授、教育団体の有識者の第三者評価も取り入れています。

私は議会で、教育長に「昨年度、18施策を評価して浮かび上がった課題を職員に取り組むように伝えたのか」と質問したところ、指示していないとの答弁でした。私は、そんなことでは、甘すぎると教育長に迫りました。**効果的な教育行政を展開するには、課題解決に向けた的確な指示、進捗把握は、教育委員会の大事な役割なはず**です。

今の教育委員会は、国の法律改正で、表上、評価しただけです。さらに、この点検・評価した教育委員会会議の議論と議事録を非公開としているのです。真摯に学校教育、市民の生涯学習教育の発展に評価結果を活かそうという考えは微塵も感じられません。これでは、なんのため教育組織なのでしょうか？**現状では、職員を指揮・監督し、真摯に教育行政に寄与する組織として機能していません。**

私は、教育長に、「課題解決に対して、職員に真摯に取り組ませるために、進捗状況も公表する形でマネージメントするべきだ」と質問しました。教育長は、教育委員会に報告させて頂くとの答弁でした。課題の取り組み状況も公表してこそ、市民への説明責任を果たしたと言えるのではないのでしょうか。

教育委員会は、本来、学校・生涯学習の教育行政発展のための大事な役割を担う組織です。このままですと、**習志野市の教育行政は、骨粗しょう症が進行し、やがて「子どもたち」「市民」が犠牲を被ること**になってくると危惧します。

(教育委員会)

5人の教育委員で構成
市民や有識者から選出：議会で承認



(教育長)

5人の教育委員の中から任命
事務を統括し、所属職員を指揮監督



(教育委員会職員)

習志野市の職員：302名